

どの子も輝き  
笑顔いっぱい  
とねがわ幼稚園

よい頭・よい躰・強い体

# とね幼だより



保護者の皆様からいただく言葉を大切に。これからも 園長 笛木 哲  
とねがわ幼稚園の教職員は、毎日の保育を『園児の成長のために』と信念をもって行  
っています（時には迷うこともありますが）。だからこそ、独りよがりにならぬよう常  
に自己を振り返り、一日の教育活動を客観的に評価しています。私が大切にしているの  
は、保護者の皆様と直接お話をし、ご意見を伺う機会をもつことです。これまでも要  
望をお聞きしたり、お叱りを受けたりすることがありました。時には褒めていただくこ  
ともあります。特に園児を褒めていただくことは、私にとって最高の喜びです。とい  
うのも教育の成果はなかなか現れません。具体的な子どものよりよき姿、変容を知るこ  
とは、とねがわ幼稚園の教育の確かな手応えとして実感できるからです。

◎年少児のお母様より 「夏期預かり保育に息子を連れてきた時のことです。ぐずる息子と荷  
物。少々手こずっていたのかもしれませんが。それを見た(たぶん年長の)男の子が、「困って  
いますか?」「お手伝いしましょうか?」と声をかけてくれました。」と、その時の喜びを自分  
だけの心にとどめておけずに私に伝えてくださいました。私の心にも大きな喜びと感動が満  
ちました。困っている人の存在に気づき、人としてどうしたらよいのか自分で考え、実際に行  
動する。しかも相手に感動まで与える。そんな優しく、たくましい子が育っているのです。も  
ちろん幼稚園教育だけではなく家庭教育の成果でもあることは間違いありません。

「まさか!うちの子に限って」～我が子を客観的に見ることのできる親に～  
子どもを信じたい親の気持ちは、私も親として理解できますし、最後まで子どもを信  
じてあげるのが親の務めであることも事実です。しかし、盲目的に「我が子の言葉」だ  
けを信じ、すべての責めを他に求めることは間違っています。子どもは、社会生活が進  
めば進むほど、親の前、保育者の前、友達の前…とそれぞれの顔もちます。嘘をつく  
つもりではなくても、知恵がつけば叱られないためにどう対処したらよいかを学びます。  
その結果、叱られず、誤魔化すことができれば、自分に都合のよいことだけを伝える、  
という技を身につけます。

トラブルがあった時には、じっくりとお子さんの話を聞いてあげてください。でも、  
すっかりそれを信じるのではなく、「君のこと信じるよ。でも相手もいるので先生にも  
聞いてみるよ。」と多方面からの情報収集をすることが大切です。もしかすると、「あ  
っ。思い出した。僕も叩いたんだよ。」と新たな事実を伝えてくれるかもしれません。  
そんな時は、「正直に言ってくれてありがとう。」「では、その時、どうしたらよかつ  
たかな。」と会話を進めていただけると、子どもも安心して正直であろうとすること  
でしょう。そして、そのことをぜひ、幼稚園にもお知らせください。

## 園児のことば 保育者のことば

- 勤務の基準 夏期登園日の初日、朝、職員室に入ってきた職員に「まもなく幼稚園が始まりますね。私は今朝、幼稚園に行くのがおっくうだなあと思いながら起きましたが、〇〇先生はどうか？」と質問すると、「私は子どもと会えると思うと嬉しくて、ウキウキしながら幼稚園に来ました。」と、気持ちよいことばが笑顔と共に返ってきました。
- 綺麗の基準 こぼした絵の具が床に模様を作っています。それを新しい雑巾で拭き取ります。「(床が)綺麗になったね。」と保育者。その脇で「絵の具がついて、雑巾が綺麗になった。」と喜ぶ子。
- 生命の基準 運悪く園舎に迷い込んだタテハチョウや夜間に飛び込んだ小さな虫たちの死骸は、ほこり同然で見向きもされません。大好きなカブトムシが死んでしまった年中さんは「大変だ。お墓をつくらなくちゃ。」とスコップを片手に園庭に飛び出し、「またカブトムシになって生まれてきてね」と手を合わせます。
- 時間の基準 バスに乗車した職員と子どもの会話です。子「ぼく、ファミマに行ったことあるんだ。先生、行ったことあるの？」教師「ずっと前に行ったよ。」子「それって、若いとき？」

### 園児が輝く時

※毎日、HP「園長ブログ」で「その日の写真」を掲載しています。よろしかったらご覧ください。



#### 先生からもらった大切なバッジ

子どもは、よく迷い、つまづきます。そんな時、保育者は様々な魔法を使って子どもを笑顔にし、パワーを与えます。ちょっぴり自信をなくしてしまった時、先生が作ってくれた手作りバッジは、僕の自慢です。裏にはメッセージも書かれています。

#### 1学期こんなことあったね

今を忙しく生きる子どもは過去を振り返る余裕がありません。でも過去から学び、成長を実感することはとても大切なことです。

#### うれしいな。新しいお友だちが増えました！

ちゅうりっぷ組に端名葵<sup>あおと</sup>くん(9月中はもも組)、ゆり組に野村<sup>きな</sup>彩菜さん、すみれ組に兼岡シャノンくんが仲間入りしました。

園児数 195 名となりました。



お泊まり保育を経験した年長さんは さらにたくましく自宅にいれば、お家の人がやってくれることの多い家事ですが、お泊まり保育では、自分達でやらなくてはならないことがたくさんあります。友達と協力し、分担して行うことで効率的に行えること、信頼し合う喜びなど、多くのことを学びました。